



デイリー・ジーザス・ニュース #288

木曜日...指導と逮捕の日：

「別れの説教」を行う

イエスは「私の名によって何でも」という祈りの約束を与える

ヨハネ14.12-14

=====

12よくよくあなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしが行っているわざを行い、さらにそれよりも大きなわざを行うようになります。わたしが父のもとに行くからです。

13あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもわたしがかなえてあげます。それは、父が子によって栄光をお受けになるためです。14あなたがたがわたしの名によって求めることは、何でもわたしは必ずかなえてあげます。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまではその聖書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれる

コンテキストダイジェスト	
位置	エルサレムの上の部屋
タイムライン	4月上旬 (39ヶ月目)
イエスの生涯の文脈	第8段階：受難週
	D. 木曜日：指導と逮捕の日
	「別れの説教」を行う
タイトル	「私の名によって何でも」という祈りの約束を与える

コメント：

今日の短い朗読は、祈りに関する新しい教えと約束を要約しています。愛の戒めに「新しい」という修飾語が用いられたように、イエスが祈りに用いる「**わたしの名において**」という**新しい修飾語**は、たった一つの短い言葉ですべてを変えました。騙されないでください。「**わたしの名において**」という**言葉**には、永遠にかけても理解できないほど深い意味が込められていますが、その限界に達することは決してありません。

祈りは告別説教の重要なテーマです。イエスの死、復活、昇天、そして聖霊の賜物は、弟子たちがそれまでイエスについて知っていたあらゆることを一変させるものであり、祈りにも革命をもたらしました。イエスは、「**わたしの名によって**」という原則が、彼らが夢にも思わなかった祈りにおける三位一体の神との力と親密さの次元へと彼らを導くと期待していました。イエスはこう言われました。「**あなたたちは今までわたしの名によって何も求めなかった。しかし、わたしはあなたたちに命じる。求め続けなさい。そうすれば、あなたたちは受けるであろう。そうすれば、あなたたちの喜びは永遠に満たされるであろう。**」(16.24)

「**御名によって**」祈ることの無限の可能性について、15章で二度(15.7, 16)、そして16.23でも語られました。さらに、弟子たちはこれまで「**御名によって**」**祈ったことがなかったとも言われました**。これは、イエスが弟子たちに示そうとした、祈りのダイナミックで新しい次元でした。そして、弟子たちが「**御名によって**」祈るとき、イエスご自身の執り成しはもはや必要ではないということが、父なる神にとって十分に重要な意味を持っていました(16.25-26)。

これは、イエスが私たちのために祈ることを決してやめないという意味ではありません。むしろ、私たちの祈りにおけるイエスの御名の効力は、イエスご自身が私たちのために祈られるのと同じくらい強力であるという意味です。これは非常に重要な意味を持っています。

肝心なのは、イエスがこの「**わたしの名によって**」という**短い言葉**で**私たちに何を約束しておられるかを真に理解する時**、私たちはまさにイエスが言われたことを実行するということです。

「**その日、あなたはわたしの名によって願い求めるでしょう...**」。「**わたしの名によって**」祈ることを学ぶ弟子は皆、イエスの名の特権を受け、文字通り地上に神の国を爆発的に出現させる力強い祈りを通して、その恩恵を完全に得ることができるようでしょう。「**わたしの名によって**」を**理解することは**、原子核の中で静かに働き、解き放たれるのを待つ力の秘密を解き明かすことに等しい霊的な行為です。

「**わたしの名において**」とはどういう意味でしょうか？まず、それが何を意味しないかを考えてみましょう。この短いフレーズは魔法ではありません。神に認められた結びの言葉として祈りの

最後に付け加えることが目的ではありません。また、この言葉を、私たちが魔法の言葉を唱えれば神は必ず与えてくれると約束したからといって、私たちが求めるものは何でも与えなければならないという道徳的義務を神に負わせる秘密の合言葉として使うことも意味しません。イエスが「**わたしの名において**」と祈ることで意味したのは、祈りの中で特定の言葉を唱えることではありませんでした。それは、それ以上のものです。

イエスの「名において」祈ることには、二つの基本的な概念が含まれています。一つ目は、私たちの態度、つまり祈りへのアプローチです。これは「立場」と呼ばれています。イエスは、御父と聖霊とすべてのものにおいて一つであるイエスの姿に倣い、私たちをご自身との霊的な一体としてくださいました。ですから、信じる者はイエスご自身のあらゆる資源を受ける権利があります。「イエスの名において」祈るということは、私たち自身ではなく、イエスの資源と立場において、祈りを通して父に近づくことを意味します。

それはまるで、地球上で最も裕福な男性と結婚し、彼の銀行口座、クレジットカード、そして購買口座のすべてに私たちの名前が加えられたようなものです。それらは今や「共同」口座となり、私たちのすべての口座に彼の名前が記されています。銀行に引き出しを申し込むとき、私たちには二つの選択肢があります。一つは自分の名前で引き出しを申し込むことです。私たちの口座は空っぽです。何も得るものではありません。その名義では何も受け取る資格がありません。しかし、イエスの「名において」銀行に申し込むこともできます。イエスの口座から、私たちにも利用可能な彼の資源に基づいて引き出すことができるのです。これは、イエスが惜しみなくそれらを私たちと分かち合ってくれるからこそ可能なのです。それが彼の恵みなのです。

祈るとき、私たちは自分の義に基づいて父に近づくことができます。しかし、それでは多くの罪を犯すため、あまり遠くまで行けません。私たちは罰を受けるべきであり、恵みを受けるべきではありません。しかし、「イエスの名によって」父に近づくとき、私たちは自分の義ではなく、イエスの完全な義に基づいて父に受け入れられます。

イエスは父なる神と一つであり、神の富から自ら資格を失うようなことは一度もなさらなかったため、父なる神から何でも受け取る資格をお持ちです。イエスは資格をお持ちです。「御名によって」祈ることは、私たちも、イエスを信じ、その恵みを受けることによって資格を得ることを意味します。実際、イエスが言われたように、私たちが「御名によって」父なる神のもとに来るとき、私たちが求めることとイエスが求めることの間には何の違いもありません。なぜなら、私たちはイエスと一つだからです。

「わたしの名によって」祈ることの第二の基本的な側面は、イエスご自身の関心と関心のために祈ることです。それは、イエスが祈られることを祈り、イエスが望まれることを願い、イエスが求めることを求めることです。私たちは、イエスが心から望まれることを望みます。イエスの望

みは完璧であり、私たちの望みよりもはるかに優れていることを私たちは知っています。ですから、私たちはイエスご自身の祈り、思い、そして願いの範囲内で祈ります。このように祈るには、イエスをよく知り、イエスの望みを知り、それに応じて願い求めることが必要です。

イエスの御名によって祈ることの第一の側面は、イエスの共同相続人として、神のすべての資源を生得権として私たちに開放することです。イエスの御名によって祈ることの第二の側面は、私たちの祈りをイエスの御心のみに限定することです。この二つの側面は、実際には一つのもので、それは、イエスに従うこと、つまり弟子としての目的そのもの、すなわちイエスのようになることです。

私たちは父に近づく立場において神に従い、また、私たちが求めるすべてのことにおいて神の望みに従います。

ですから、祈りはイエスに似た者となるために不可欠です。「**わたしの名によって**」祈ることは、神の前での私たちの立場、そして神の被造物すべてに対する私たちの願いにおいて、私たちが神に従うことを学ぶ方法です。それはこの地上で最も強力な力です。なぜなら、信仰によって私たち一人ひとりに永遠と神の限らない栄光の扉を開くからです。

応用：

あなたはイエスの御名によって祈ることの潜在能力を実感していますか？もしそうなら、あなたは祈りの生活を粘り強く続け、それによって祈りの中で成長しているのです。

もしあなたが祈りを継続的に続けることが、まだ夢のようで現実味が薄いなら、まずは主に、「**主の御名によって祈る**」という主の約束の意味を示してくださいと祈ることから始めてください。主がそうしてくださると信じ、祈り続けてください。

「**わたしの名において**」というのがキリストのような祈りの秘密です。